

○事業所名	児童デイサービス ネムの木園（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全身性障害の児童にも安心して通園して貰える全館バリアフリーの構造。福祉車両もあり、バギーや車イスに乗ったまま送迎や外出ができる。 重度心身障害児を対象に特別浴槽での入浴支援を行っている。	座位保持椅子、こども用車椅子、カーシートを用意しており、安心して支援を受けてもらえるようにしている。 入居施設の設備を利用して入浴支援提供しているため、浴室の利用が重ならないように連携している。	
2	室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、色々なことを体験できるようにしている。	自立支援として買い物学習、地域交流として土器川河川敷の美化活動、余暇活動として地域の公園で遊具遊びや散歩を行っている。	
3	曜日ごとやカレンダーでのレクリエーションではなく、地域の施設や地域の催しにも参加できるように柔軟なスケジュール構成を行っている。	事業所で行う季節行事や製作、クッキングなどは全児童が参加できるように1週間帯で提供している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への緊急時や感染症対策等に対するマニュアル・訓練の情報発信・周知不足。	防災への取り組みや緊急時の対応などのマニュアルは作成しているが、契約時の説明に留まっている。 ブログやネムの木園便りに避難訓練の様子を掲載しているが周知が徹底されていない。	ブログ、Instagram、便りなどを通じて保護者の方へ取組みを発信していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童デイサービス ネムの木園（放課後等デイサービス）				公表日	2025年 3月 1日	
		利用児童数 16				回収数	9	
		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからな い	ご意見	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9				室内も屋内もどちらも十分なスペースがあると思います。施設が新設されたのでそうなっていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8			1	数に応じて両者の人数も決められているので適切だと思いますがこちらではわかりません。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				多岐にわたってとても工夫していただいています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2		4	お子さんとの触れ合いはわかりませんが児童館等ではしっかり活動している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2		4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2			送迎時にアドバイスや話を先生から受けている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		1	4	交流会やイベントは世情的に無理だと思います。老人ホームも併設されていますし…。中々兄弟への支援までは難しいと思います。双方がナムの木園を利用していたら可能だと思います。
保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				写真や活動が載った通信が定期的に渡されていてとても楽しみにしています。通信は来所していない日も様子がわかるので楽しみにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2	多分大丈夫だと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2	避難訓練をしっかりといただいていると感じています。通信で見たことがあります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				送迎の丁寧さやその他の事も色々教えてくれるので子供は安心しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				楽しみにしています。新しい場所に移ってから前より楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1			いつも丁寧にに対応していただくので満足です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ネムの木園（放課後等デイサービス）		公表日	2025年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		定員10人。活動室41.5㎡、静養室28.6㎡、リラクスペース12.8㎡、学習室12.8㎡、他に玄関ホール、トイレや洗面を含めると111.3㎡あり、活動や特性に合わせた空間を用意している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		常勤専従の職員が児発管、保育士2、児童指導員2、その他従業者1。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		活動、静養、リラクスペース、学習スペースに分かれていて部屋ごとにマークを表示している。駐車場を含む建物全体がバリアフリー。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		全部屋にゴミ箱や消毒液、ペーパータオル等を設置しており、清潔を保つ努力をしている。活動に合わせて使用する部屋を変えて支援を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パニック時等にスヌーズレンのマキシバブルチューブを常設しているリラクスルームで落ち着くことができる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎月目標に対しての振り返りを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		施設内外研修に参加し、資料を全職員が確認している。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		法人のHPに掲載している (http://www.koushi-f.or.jp/)
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎月計画会議を行い、職員同士で情報を共有したり支援内容を考えたりしている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		一人一人の目標、支援内容を個人記録に綴り活動前に確認できるようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		各自が調べたり考えたりしたプログラムを提案し、全職員で話し合っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		月一回季節の製作やクッキングを行っている。また、地域の行事に参加している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		自立支援、創作活動、地域交流、余暇の提供を行っている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要な子どもに対して市の福祉課や子ども課、主治医など関係機関と定期的に情報交換を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		当事業所の契約が終了した後の担当者会議等にも需要があれば出席し情報提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎回連絡帳で保護者とやり取りを行っている。送迎時にも情報交換を行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画を立てる前に、本人から聞き取りを行うこともある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		その都度相談に応じている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		活動内容や行事予定などを法人のHPのブログやインスタで発信している。また、ブログの内容をまとめて、ネムの木園便りをペーパーで発行し配布している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		マルシェを開催し、地域住民を招待している。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	保護者からの聞き取り内容で対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年2回虐待防止、身体拘束適正化の研修に全職員が参加している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			